

つる魅力の創造・発信

《これまでの取組み》

【目的】

・区民が世代を問わず区への愛着を深めるとともに、区外にも広く鶴見区の魅力を発信し、魅力的な区と感じる人が増える。

【取組み実績】

- ・トワイライトコンサート（平成 27 年 10 月～）
- ・「発見！！つる魅力」冊子転入世帯への配布（平成 28 年 4 月～）
- ・つるみワールドフェスタ（平成 27 年 10 月～）
- ・つるみミュージック＆アート（平成 29 年度 NEW）
- ・ウィンターフェスティバル（平成 26 年 12 月～）
- ・スプリングフェスティバル（平成 29 年 3 月～）
- ・つる魅力検定（平成 29 年度 NEW）
- ・楽園会議イベント（平成 30 年 3 月予定）



《現状・課題》

- ・子育て世代が多く、地域への愛着や世代を問わず交流やつながりが求められており、鶴見緑地等を活用したイベント等の開催や区民ニーズの高い音楽系イベントや子育て世帯を対象にしたイベントを開催している。
- ・鶴見区の歴史やまちの魅力に触れる機会を創出することにより、子育て世代をはじめ幅広い世代に生活環境や利便性だけではない鶴見区の魅力を感じ、愛着をもっといただく取組みが引き続き必要。



《平成 30 年度の取組みの方向性》

- ・これまで、区内外に魅力を発信する取組みとして、さまざまイベントや事業を実施。
- ・事業内容を振り返り検証することにより、効果的な事業、期待する効果がなかった事業、新しく取り組む事業に振り分ける。
 - 個々のイベント等の事業が、もともとの趣旨からそれていないか。
 - 鶴見緑地等で実施している民間主催のイベントと重なっていないか。
 - 区役所内の他課が行っている同じような内容とどのような違いがあるのか。
- ・このような視点から平成 30 年度に向け、イベント等の事業について、廃止も含め再構築を行いたい。

「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みの推進

《これまでの取組み》

【目的】

- ・環境に対して関心の高い区民の割合を増やし、区全体に環境・エコ活動の流れを創出し、区の魅力創造につなげる。
- ・花と緑を通して、世代を超えた新たな地域コミュニティの形成を図り、花と緑のまちづくりを推進する。

【取組み実績】

- ・環境フェスタ（平成 25 年度～）
- ・環境学習講座（平成 27 年度～）
- ・地域や幼稚園・保育園等と連携した鶴見緑地でのホタル幼虫放流（平成 27 年度～）
- ・種から育てる地域の花づくり活動（春まき・秋まき）（平成 19 年度～）
- ・種花活動での地域の子どもたちとの花植え実施（平成 28 年度 NEW）
- ・咲くやこの花館と連携した植物の寄せ植え体験講座の実施（平成 29 年度 NEW）



《現状・課題》

- ・区民アンケートでは、「環境意識が高まっている」区民の割合が増えてきているが、引き続き、当区に多い子育て層を主な対象とした効果的な取組みが必要だと感じている。
- ・種花活動のボランティアの負担軽減や活動しやすい環境づくり、地域コミュニティの拡大を図っていくためには、まだまだ改善の余地がある。



《平成 30 年度の取組みの方向性》

- ・環境フェスタの開催【継続】
- ・環境学習講座【継続】
- ・鶴見緑地でのホタル幼虫放流【継続】
- ・種から育てる地域の花づくり活動（春まき・秋まき）【継続】
- ・種花活動での地域の子どもたちとの花植え実施【継続】

幅広い区民ニーズの把握と効果的な情報発信

《これまでの取り組み》

【目的】

区民が求める情報を確実にわかりやすく提供するとともに、区民の区政への理解・関心を高める。

相談や要望に適切に対応する信頼できる窓口づくり

【取り組み実績】

- ・ 広報紙の全戸配布のほか、HP、フェイスブック、ツイッター、区内掲示板、青色防犯パトロール車等を活用した情報発信
- ・ 区内高等学校との協働による LINE スタンプの制作（29年度 NEW）
- ・ 鶴見区版 FAQ の更新（随時）
- ・ 区内事業所（署）等との連携



広聴窓口

《現状・課題》

- ・ H26 年度から広報紙を全戸配布しており、広報紙自体の認知度は高く（H28 年度 91.7%）、また、あらゆる広報媒体を活用しさまざまな情報発信を行ってきた。しかし、全戸配布された広報紙により十分に区民に情報が伝わっている（関心を持って読まれている）とはいえない。
- ・ 区民からの相談や要望、苦情に迅速かつ適切に対応するため、これまで以上に鶴見区担当の各事業所（署）等との情報共有や連携した対応を図ることが必要である。



《平成 30 年度の取り組みの方向性》

- ・ 区民の視点に立ち、あらゆる世代の区民が「読みたい」広報紙の情報発信内容、魅力的な紙面づくりについて、さらに工夫する。また、HP、SNS や掲示板等各広報媒体について有効活用する。
- ・ 区役所や各事業所（署）等で受付けた区民からの相談や要望、苦情に対し、担当以外の部署で受付けた内容であっても、ICT を活用するなどし、各事業所間でのリアルタイムな情報共有の仕組みを構築し迅速かつ適切に対応する。